

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	井原あゆみ園（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年3月2日		～ 2026年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2026年3月23日		～ 2026年3月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して楽しく通える支援を提供しています。	職員間で日々の情報共有を行い、一貫した支援を行えるように心がけています。 子どもたちがどの職員とも安心して過ごせるよう、丁寧に関わり、信頼関係を築いています。 活動内容を充実させ、子どもたちが楽しく取り組めるよう工夫しています。	限られた職員だけに関わるようにならないよう、職員体制を工夫します。
2	活動内容が偏らないよう、幅広く様々な活動に取り組んでいます。	毎月職員間で会議をし、今の子どもたちに必要な活動に取り組めるよう、活動内容を考えています。園だよりとして発行し、保護者の方には事前に活動内容を知らせ、見通しが持てるようにしています。	研修を通して、専門性の向上を図っていきます。
3	保護者の方と日々の様子の情報交換の機会を設けています。	活動の内容、取り組んだ様子を毎療育後に保護者の方に伝える時間を設けています。また、必要に応じて相談・助言を行い、職員と保護者が共通認識が持てるように意識しています。一貫した助言ができるよう、受けた相談は必ず職員間で共有しています。	家族支援の充実が図れるよう、研修の機会を設けます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の交流の機会が不十分。	保護者が集まって交流できる機会は設けているが、開催回数が少なく、参加できる保護者が限られた。	開催回数を増やしたり、開催日時を工夫し、参加しやすい体制を整えていく。
2	地域交流の機会が少ない。	地域とのつながりを意識した活動や、交流の機会が十分設けられていない。	市内で行われている行事などに積極的に参加できるよう検討していく。
3	避難訓練に取り組んでいるものの、保護者との共有が不十分であった。	避難訓練の実施について見える化が不十分だった。	避難訓練について、その時の子どもたちの様子を貼り出すなどして実施したことを周知する。また、避難時の子どもの様子などを共有し、課題や対応策などを家庭内でも活かしてもらえるようにする。